



## 「活きている ことわざ」

船橋市議会議員（無所属・4期）

神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

### 【事務所】

船橋市前原西8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

Eメール hiroei@muc.

biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

hiroei.jp

## 浅学非才（せんがくひさい）・能ある鷹は爪を隠す

【浅学非才】◇学問・知識が浅く未熟であること。また、その人。

《対句》「博学多識」「博覧強記」

【能ある鷹は爪を隠す】◇鷹は鋭い爪を持っているが、必要な時以外は隠していることから、才能や実力のある人は、日ごろむやみにそれをひけらかしはしない、ということ。

《類語》「能ある猫は爪隠す」「上手の鷹が爪隠す」

《対語》「能無し」の口叩き

今年は異常気象に見舞われています。特に西日本における「豪雨」、全国的な「猛暑」、東から西に向かう「逆台風」。この異常さに慣れてしまうことは、さらに恐ろしいものではないかと思えます。幸いにも船橋周辺は、大地震による津波や大河川の氾濫に遭遇することは無いように思われますが、雨・風・気温の異常気象は場所を問いません。日頃から心備えをしておく必要があります。



今号は日ごろ感じていることを中心に書きました。異常なこととは言えないかも知れませんが、最近、『浅学非才』の私ですが、日本語として「目障り」「耳障り」に感じることがあります。それは、あのNHKのテロップで時々目にする、「て」という表現が英語の「T」か、甲乙丙丁の「丁」の文字の縦線をやや斜めに表記していることがあります。他のひらがなは、ちゃんと書いているのに「て」だけわざわざTみたいに書いています。これから文字を覚えていく子供に良い影響を与えないと思っています。



次に、話言葉です。一時期に流行って(?)いたのは「語尾上がり言葉(はん疑問)」でした。そんな感じに聞こえるのが「なので」言葉

です。さすがにNHKのメインアナウンサーは使っていません。国語辞典にも載っていません。広辞苑の付録の日本文法概説を調べてみました。

少し堅い話になりますが、「語」には「名詞」「代名詞」「動詞」「形容詞」などがあります。二つ以上の文または語句の間であって、それぞれの文または語句の表す内容が、どのような関係で続いているかを示す語は「接続詞」です。「および」「かつ」「けれど」「しかし」「だから」「なのに」「また」などがあります。「なので」はどこに分類されるのか私には分かりません。

例えば「冬は寒いです。しかし、今は夏なので暑いです」の「なので」は問題ありませんが、「冬は寒いです。今は夏です。なので暑いです」の「なので」はやはりおかしく感じてしまいます。文章の頭にくる単語ではないように思います。

この「なので」言葉は話言葉として便利なのかも知れません。テレビやラ



ジオの解説者で乱発している人もいます。決して使ってはならないと言っている訳ではありませんが、一度気になってからずっと気になっているのは私だけでしょうか。一過性のものであって欲しいと思います。

そして今、日本のスポーツ界はどうなっているのでしょうか。前号は日大ラグビー部について書きましたが、今度は体操女子がバワハラを受けたということです。真実は藪の中ですが、トップの方が長年同じ地位にいると様々な問題が起きるようです。女子本部長は「会話を録音していたので、聞いて貰えば決して高圧的な態度ではなかった」と圧力を否定しています。少しおかしいと思いませんか。立場の弱い人や不正等を明らかにしようとする人が、相手側の言葉を録音して、後日の証しにすることはありますが、自己肯定したい人が録音することは、意識的に言葉を選んで話したり、優位に都合の良いように話すことが可能なわけです。今回の録音した人がそれをもって相手側の発言を否定するには、信じがたいものがあります。



日大の一件にしる今回にしる、立場の弱い人が勇気をもって〈告発〉して、相手側が全否定する、なにか「森友・加計問題」に通じるものを感じます。こんな日本で良いのでしょうか。



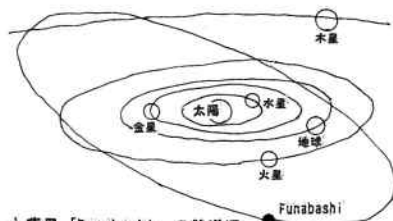
船橋市でも、議員が、立場の弱い職員に対して馬鹿にしたり暴言を吐いたり恫喝することがあると聞いています。そんな時は心が病む前に勇気を持って告発してください。日本は法治国家ですから正義を貫いてください。『能ある鷹は爪を隠す』ものです。能力があるように見えても、思いやりの無い人間は人間の屑です。

ようやく明るい話題です。既にご存じの方も多いと思いますが、宇宙の話です。

小惑星に「Funabashi (ふなばし)」の名前が付きました。平成12年に岡山県にある 美里スペースガードセンターという所で発見された小惑星(25892番)が、国際天文学連合(I A U、本部パリ)が、正式に「Funabashi」と命名すると認定したのです。

I A Uに命名を申請したのは、N P O法人日本スペースガード協会です。同協会は、船橋市が平成27年に、市総合教育センターで開催した「小惑星探査体験活動 スペースガード探偵団」や、船橋市が以前より天文教育に積極的に取り組んで来ていたこと等を評価してくれ、I A Uに申請し正式に命名されたものです。

この小惑星「Funabashi」は、火星と木星間の小惑星帯にあり、太陽の周りを約2年8ヶ月かけて公転しています。直径は2.4キロから5.4キロと推定されています。明るさは18等級で、残念ながら市販の望遠鏡では見えないそうです。



松戸市長は「船橋の名を永遠に宇宙に残すことができました。今回の命名が、星や科学好きの子供が育つ大きなきっかけになってくれれば」と感謝の言葉を述べられました。

私は、宇宙や自然が大好きです。今見える星が何千、何万、何億年光年(※光速度=真空中で毎秒約30万キロメートル)も離れた所にあるものが大半です。大宇宙から見る地球は如何に小さなものか。

もう、弱い者いじめはやめて、みんな仲良く生きていきましょうよ。